

事務事業名		児童生徒各種健康診断事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																										
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間																											
	施策名	10 学校教育の充実		区分																											
	基本事業名	03 健やかな体の育成		単年度繰返																											
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																											
所属	部課名	教育委員会事務局学校教育課		【開始年度】																											
	課長名	佐藤 和生		昭和33 年度～																											
	係名	学務係	電話 0192-27-3111	事務事業区分																											
	担当者	山崎 あゆみ	内線 292																												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																											
児童生徒の各種健康診断(内科・眼科・耳鼻科・歯科・尿検査・心電図検査・結核検診・健康管理検診)を実施する。主な業務内容は、各学校医・歯科医・薬剤師の選定依頼及び委嘱、各種健康診断日程調整、各種健康診断結果の学校医等への報告及び集計である。事業費は、各種健康診断実施委託料等である。				<table border="1"> <tr><td rowspan="7">総投入量 (千円)</td><td rowspan="5">事業費</td><td>財源内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td rowspan="3">人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td colspan="3">トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)			0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																												
		都道府県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
		一般財源																													
	事業費計(A)	0																													
	人件費	正規職員従事人数																													
延べ業務時間																															
人件費計(B)		0																													
トータルコスト(A)+(B)			0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 各学校医等への委嘱及び報酬支払い、各種健康診断日程調整、各種健康診断結果の各学校医等への報告及び集計	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 小学校1校あたりの検診回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 中学校1校あたりの検診回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 小学校1校あたりの検診回数	回	イ 中学校1校あたりの検診回数	回	ウ	
名称	単位								
ア 小学校1校あたりの検診回数	回								
イ 中学校1校あたりの検診回数	回								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 各学校医等への委嘱及び報酬支払い、各種健康診断日程調整、各種健康診断結果の各学校医等への報告及び集計	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 児童生徒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 市立小中学校児童生徒数(4/1現在)</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 市立小中学校児童生徒数(4/1現在)	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 市立小中学校児童生徒数(4/1現在)	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 心身ともに健康で学校生活を送ることができる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 健康でたくましく成長する。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 有所見者数(延べ数)(H30～)</td><td>人</td></tr> <tr><td>シ 有所見者のうち通院者の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 有所見者数(延べ数)(H30～)	人	シ 有所見者のうち通院者の割合	%	ス	
名称	単位								
サ 有所見者数(延べ数)(H30～)	人								
シ 有所見者のうち通院者の割合	%								
ス									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	3,651	3,641	3,650	3,806	3,800	3,800
	事業費計(A)		千円	3,651	3,641	3,650	3,806	3,800	3,800	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	0	0	0	0	0	
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300	
		人件費計(B)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	4,851	4,841	4,850	5,006	5,000	5,000
⑤活動指標		ア	回	7	7	7	7	7	7	
		イ	回	7	7	7	7	7	7	
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	2,188	2,150	2,094	2,067	2,010	1,960	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	人	1,366	1,343	1,240	1,220	1,185	1,156	
		シ	%	60	63	60	60	60	60	
		ス								

事務事業ID	0940	事務事業名	児童生徒各種健康診断事業
--------	------	-------	--------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	根拠法令の制定(昭和33年)に伴い、事業を開始している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	市内及び気仙管内開業医が不足(特に市内での眼科医と耳鼻科医は1名ずつ)となっている。 このため、6月までに健診が終わらず、また、全校生徒の受診ができない検診もある また、尿検査や歯科健診等の器材単価が上昇している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市立小中学校児童生徒が、心身ともに健康で学校生活を送ることができるように、各種健康診断を実施している。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 根拠法令に基づき、遅滞なく事業実施している。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 意図についても、根拠法令で定められており、限定追加する必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 現在本事業は、全ての市立小中学校児童生徒を対象としており、これ以上の成果向上余地が認められない。 今後、有所見者の数値を把握し、その治療率の向上を狙う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 根拠法令の義務規定を怠ることとなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 対象が根拠法令で定められており、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) すでに検診実施を民間業者へ委託(アウトソーシング)している。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 根拠法令に基づいて事業実施しているため、受益者負担は適正ではない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	特になし。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	本事業は適正に進められており、今後も現状維持で実施する。